

教育理念	生きる力を育む自然の教育 — 生きいきと それぞれに 生きいきと —
教育方針	<p>1：からだで学ぶ体験教育（四季を通して山、川、林などの身近な自然にふれ、危険を知って楽しく遊ぶ） → 豊かな感性と表現力を育む</p> <p>2：心を鍛える仏教教育（あらゆるものは複雑なかかわりの中で生きている。すべての生命を尊び、自分の生命を全うするという精神を学ぶ） → 宗教的情操を養う</p> <p>3：社会をつくるフレネ教育（自主性、主体性、率先性を大切に、心と心をすりあわせて生活をつくっていく） → 社会性を養う</p>
教育目標	<p>在園期間中はそれぞれの成長、歩みに合わせて最終的に以下の子供像を目指すため、</p> <p>教育者である職員は専門性を高め、子供の特性や育ち・社会情勢等を考慮し、課題をもって一人ひとりとまっすぐに向き合う</p> <p>♣心身ともに自立し、自分自身に責任をもって自由を楽しむことが出来る子 ♣感じたこと、考えたことを自分なりに表現し、素直に心を開いて生活できる子</p> <p>♣自己を大切にし、他者や周りの環境とのバランスをとりながら、繋がる喜びを感じられる子 ♣困難にぶつかっても、自ら考え、工夫し、楽しみを見出す意欲のある子</p>

年齢別教育目標と内容

共通

・基本的な生活習慣を身に着け、身の回りのことは自分で行う

・ありのままの自分を表現する喜びを味わう

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
健康	・個々の生活リズムを整え、他者の安定した愛情を感じて安心した生活を送る	・安心できる保育者や環境の許で、身近な物事に興味をもって生活をする	・自ら意欲的に遊び、身近な人や事物との関わりを楽しむ	・異年齢集団の中で好きな相手や遊びを見つけ、楽しく生活をする	・異年齢集団の中でも自分を表現し、かかわりを深めて生活を楽しむ	・異年齢集団の中で心身共に自立した生活を送る ・仲間と互いに認め合い、魅力を発揮し合って、自分たちで生活を作る楽しさを味わう
情緒	・快、不快を感じ、清潔に過ごす気持ち良さを知る ・適宜、休息をとって体調を整える	・生活の流れが分かり、リズムを整えて機嫌よく生活する ・安全な生活を心掛ける	・健康に過ごすための基本的な生活習慣を覚え、身の回りのことは自ら行おうとする	・健康に過ごすための基本的な生活習慣が身に付く	・健康に過ごすための基本的な生活習慣を自ら継続できる ・体調や天候によって自ら衣服の調節をする	・自ら体調の異変に気づいて訴える ・病気や怪我を予防する意識ができる
自然体験	・戸外で過ごす心地よさを感じる ・目に映る様々な物に興味をもち、目で追ったり、手を伸ばしたり、避けたりしながら体を反応させていく	・戸外で過ごすことで五感や意欲を刺激する ・目に映る様々な物に興味をもち、自ら触れてその物を認識していく	・探索活動を好み、好奇心が高まる ・普段とは違う環境に戸惑いや不安を感じ、身を守ろうとする感覚を知る ・安全が確保されていることが分かる、非日常の体験を喜ぶ	・身の回りの自然物を用いて遊びを工夫する楽しさを味わう ・恐怖を感じて自分の力でできるかどうかを考えるようになる ・なぜ？と疑問を抱く視点をもつ	・自然の不思議に興味をもち、フィクションとノンフィクションの狭間で考えを巡らす楽しさを知る ・年長児の姿を見ながら、少し高い課題に挑戦したいと思うようになる	・自然の不思議に対して関心が湧き、友達と協力しながら自ら真実を知ろうとするようになる ・危険を予測し、緊張感を伴う挑戦の前に自身の課題に気づき、乗り越えて自信をつける ・体験を通して自然の美しさ、厳しさ、偉大さを実感する
行事	・普段とは違う経験をし、その雰囲気を感じる	・普段とは違う経験をし、その雰囲気を味わって感情を表現する	・普段とは違う雰囲気戸惑いながらも、保育者や友達と一緒に活動を楽しむ	・普段とは違う雰囲気高揚し、友達と一緒に体験する楽しさを味わう	・行事の目的や雰囲気によって高揚感と緊張感を抱く	・行事の目的やねらいを理解し、自分で目標や楽しみを見出しながら参加する
言語的表現	・声を発することで呼応する喜びを知る	・指さしや仕草で気持ちを伝えようとし、それを汲み取ってもらうことで簡単な言葉を覚えていく ・理解してもらい喜びを知る	・言葉で伝えきれないもどかしさが、手足が出る、噛みつきなどの行動に表れ、正しく伝えたい・理解してほしいという欲求が高まる ・言葉が豊かになり、三語文で話せるようになる	・自分の思いが言葉で自由に表現できるようになると、友達との会話も楽しめる ・言葉によってイメージを共有するごっこ遊びが盛んになる	・友達や保育者と会話が弾み、伝え合う楽しさ、喜びを感じる	・相手が理解できるように言葉を選んだり、言い換えたりして話をする ・難しい言葉も前後の話の流れや雰囲気自分なりに解釈して理解しようとする
造形的表現	・色々な教材に出会い、それぞれの感触を楽しむ	・自分の好みや欲求を表現し、保育者とのやり取りを楽しみながら活動する	・自分の好みや欲求を伝え、保育者と一緒にイメージを形にする楽しさを味わう	・自分の好みやイメージに合わせて素材を選び、保育者と一緒に工夫する楽しさを味わう	・自分の好みやイメージに合わせて素材を選び、保育者や友達と意見を交わしながら、思いを込めて作品を作る楽しさを味わう	・完成図を思い描きながら、素材や工程などを自分で考え計画し、友達と刺激し合いながら工夫を重ね、自分の力で作り上げる苦労や喜びを味わう
音楽的表現	・歌を聴いて心が弾んだり、身体が反応したりする感覚を喜ぶ	・友達や保育者と一緒に歌ったり、リズムに合わせて身体を動かしたりすることを楽しむ	・リズムに合わせて友達や保育者の真似をして、動きや高揚感を共有することを喜ぶ ・好みの歌は繰り返うたう	・身の回りの生きものや自然現象、乗り物などになりきって体を動かすことを楽しむ	・登場人物の気持ちを想像したり、リズムをとったりしながらうたう	・作品の背景を想像したり、情景を思い浮かべたりして、感情をのせて歌をうたう ・体験や感情をリズムや身体の動きで表現する ・音程やリズムを正しく理解する
人間関係	・保護者以外の特定の大人と信頼関係を作る ・他の子供の存在を感じる	・安心感を抱ける特定の保育者の存在があることで、他の保育者や友だちとのかかわりを喜び、新しい世界に踏み出す ・相手の反応に興味をもってかかわろうとする	・自己主張が強くなり、衝突が増える一方で、友達と楽しさを共有する喜びも覚えていく ・保育者が介入しながら、それぞれの思いの違いを知る	・気の合う友達と過ごす楽しさを覚える ・仲間外れや御華が起きるようになり、友達と過ごす難しさ、悲しさも知る。 ・自分と相手とは思いの違いがあることを少しずつ受け止める	・友達と思いを共有したり、違いを知ってどうすべきか考えたりしながら、自分たちで問題を解決しようとする ・ルールのある遊びが楽しめるようになる ・交友関係が広がる	・自他の長所、短所、得意なこと、課題を受けとめ、認め合い、協力して物事を成し遂げようとする ・相手の話を聞き、思いを察して行動を考えられるようになる ・安心してありのままの自分を表現し、友達や保育者と強い信頼関係を築く
食育	<p>食欲マナー</p> <p>・体を存分に動かし、空腹を満たす喜びを感じる</p> <p>興味関心</p> <p>・様々な食品に少しずつ慣れる ・食品の匂いや舌ざわり、手ざわり等の違いを感じる</p>	<p>・体を存分に動かし、空腹を感じて自ら食べようとする意欲をもつ ・食事のマナーを少しずつ知る</p> <p>・食品の色や形の違いに興味を持つ ・自身の嗜好を知る</p>	<p>・体を存分に動かして遊び、食欲を満たそうとする ・マナーを少しずつ覚える</p> <p>・様々な食品を覚えていく ・味に対する表現を覚えていく ・身近な食物の成長や収穫を楽しむにする</p>	<p>・自ら体を存分に動かして遊び、食事を楽しみにする ・声を掛けられることでマナーを意識する</p> <p>・様々な食品を覚え、自ら調理することに興味をもつ ・身近な食物の世話と収穫を通して、食への興味を深める</p>	<p>・友達と会話をしながら食事をするとマナーを意識して食事をしようとする</p> <p>・自ら調理をする楽しさを知り、その美味しさに気づいて喜ぶ ・食物の成長には何が必要なのかかわかり、世話や収穫を楽しむ</p>	<p>・食材それぞれの効果を知り、好き嫌いを克服する ・マナーを守って楽しく食事をすると</p> <p>・危険を知って、自ら計画し、調理する喜びを味わう ・食品の成り立ちや、変化に関心を持ち、友達や職員とやり取りをしながら興味を深める ・食を通して命の巡りに気づき、生命を尊ぶ気持ちをもつ</p>

その他の支援

健康支援	・家庭状況、生育状況、健康状態の把握 ・身体測定(月1回) ・検診(内科年2回、歯科年1回) ・保健所、保育課、子ども支援課との連携	保護者支援	・懇談会 ・個人面談 ・園庭開放 ・公開保育 ・参加型行事 ・係活動 ・意見交換 ・施設だより発行 ・SNSの活用
環境・衛生管理	・施設内外の設備や遊具、用具の清掃、消毒、自主点検 ・保菌検査(年1回) ・蟻虫検査(年1回) ・伝染病情報収集と蔓延予防	保育の質の向上	・公開保育 ・園主催の研修会 ・他園、他業種の職員との交流 ・園外研修参加 ・評価表 ・面談 ・不適切保育の防止 ・職員会議(週1回) ・保育、行事内容の検討 ・共通理解
安全・事故防止	・救急用品常備 ・消防点検(年2回) ・遊具の点検 ・交通安全教室 ・避難訓練(月1回、地震、火事、水害、車両事故、不審者対策 他) ・消化訓練(月1回) ・引き渡し訓練(年1回) ・通報訓練(年1回) ・ヒヤリハットの記録と話し合い ・虐待防止、早期発見 ・子どもの運動機能、運動神経の把握 ・子ども自身の注意力喚起	特色を活かした活動	・仏教行事 ・法話 ・幼保学童一体型保育 ・異年齢交流 ・自然体験(林あそび、川あそび、磯あそび、山あるき、畑の労作) ・冒険活動(年長児夏、冬のキャンプ) ・図書貸し出し ・保護者の参画
社会的責任	・人権の尊重 ・情報の開示、保護 ・説明責任 ・苦情処理、解決	地域との交流	・防災/パレード参加 ・園庭開放(未就園児親子、高齢者) ・カフェ ・ふれあいマーケット ・明光寺もみじまつり
幼・保・小の連携	・連絡会参加 ・情報交換 ・小学校訪問 ・他園との交流	評価	・自己、他己評価 ・保護者アンケート(次年度の計画へ反映) ・園内評価